(公社)日本精神科病院協会
'22.9.12
収号

日理協 22 第 229 号
2022 年 9 月 1 日

公益社団法人日本精神科病院協会
会長　山崎　學　殿

公益社団法人　日本理学療法士協会
会　長　　斉　藤　秀　之

「2020　職場における腰痛予防宣言」の事業報告ならびに
「2022　職場における腰痛予防宣言」のご案内および周知のお願い

拝啓　時下ますますのご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より公益社団法人日本理学療法士協会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、近年、医療・介護職種を含む「保健衛生業」における業務上疾病の 8 割を「腰痛」が占めており、その対策は喫緊の課題となっております。

そこで、本会では、厚生労働省のご後援のもと、2020 年より医療・介護施設における腰痛予防・労働安全に貢献することを目的として、本会会員が所属する施設内での腰痛予防講習会の開催や、職場のリスク見積と改善提案を理学療法士が実施する取り組みを行っております。新型コロナウイルス感染症の拡大により一時中断も致しましたが、昨年度までに全国で 130 施設が取り組みを実施し、10 職種以上、5,645 名が講習会に参加いただきました。このたび、「2022　職場における腰痛予防宣言」と題して、リニューアルして事業を実施させていただきます。

つきましては、貴下会員施設等にご周知のうえ、各会員施設等に所属する理学療法士とともに、医療・介護職等の腰痛予防による職員の労働生産性の向上や、休職に伴う人手不足解消などの一助として、本取り組みの活用をご検討いただけますと幸いです。

お手数をおかけいたしますが、是非ともご支援、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

※　参考資料として別紙を添付いたしますのでご覧ください。
※　本事業の詳細は下記 URL の本会ホームページよりご参照いただけます。
URL：https://www.japanpt.or.jp/pt/function/healthpromotion/#a5

以上

【問い合わせ先】
公益社団法人日本理学療法士協会
事務局：吉倉、大久保　Mail：shokuno@japanpt.or.jp

別紙１

# 「2020　職場における腰痛予防宣言！」の事業報告(概要)

## 全国130施設が事業に取り組み、総勢5,645人の腰痛予防に貢献！

### 事業の趣旨

・我が国における業務上疾病の中では腰痛が最も多く、医療・介護職種を含む「保健衛生業」においても腰痛は80%以上にのぼる。
・全国の医療・介護現場を対象に、先ずは本会員自身の所属する施設において理学療法士による腰痛予防に取り組む啓発事業を開始した。

### Ⅰ.事業概要と達成施設数

**参加施設の46%が、全てのMissionを達成**

○事業期間
・2020年1月6日　～2020年4月15日
・2021年12月1日～2022年3月25日
○事業対象
・18,833施設
○総参加者数　○運営に参加したPT
・5,645人　・320人

### Ⅱ.参加した職種：5,645人の内訳

**延べ10職種以上の医療・介護職が事業参加**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ○看護師 | 1,847人(最大182人/施設) | ○介護助手 | 141人(最大68人/施設) |
| ○介護士 | 1,347人(最大80人/施設) | ○事務職 | 467人(最大50人/施設) |
| ○医師 | 97人(最大30人/施設) | ○作業療法士 | 288人(最大42人/施設) |
| ○看護助手 | 243人(最大45人/施設) | ○言語聴覚士 | 106人(最大29名/施設) |
| | | ○薬剤師 | 46人(最大11人/施設) |
| | | ○栄養士 | 61人(最大5人/施設) |
| | | ○その他 | 392人(最大11人/施設) |
| | | ○理学療法士 | 610人(最大69人/施設) |

### Ⅲ.職場のリスク見積もりと改善提案の際に連携した部署・職種等

**取り組みを通し職場の腰痛リスク抽出も実施**

○職場におけるリスクの見積もり(介護作業)
・着衣あるいは非着衣での「移乗介助」が最多(併せて32%)となった。
・「体位変換」(17%)や「トイレ介助」(15%)の負担が大きい傾向がある。

### Ⅳ. 参加者の声

理学療法士：腰痛予防の取り組みをきっかけに他職種とコミュニケーションをとる機会が増え相談しあえる関係が構築された。職場全体のケアのレベルアップが図られ、活性化した印象。

看護師：看護師のなかでなんとなく常識的に行われていた移乗動作方法を理学療法士から正しい方法を教えてもらえてよかった。実技もあって分かりやすかった。

### Ⅳ.事業総括と今後の展望

**腰痛予防の取り組みの推進へ！**

- 本事業はコロナ禍により一時中断したが、最終的に全国で130施設、計320人の理学療法士が運営に参加し、看護師、介護士を中心に5,645人の腰痛予防に寄与する取り組みが実施された。
- 理学療法士、看護師等多職種からも好評であった一方で、業務時間内での取り組み時間確保、腰痛予防体操や移乗方法など講習会で実施した内容の取り組みをいかに継続していくかという課題の声もあった。
- 好事例集を作成しノウハウを展開するとともに、今後腰痛予防に取り組む施設をより増やし、医療・介護現場の腰痛予防の普及に取り組んでいく。（2022年度は9月頃から本事業実施予定）

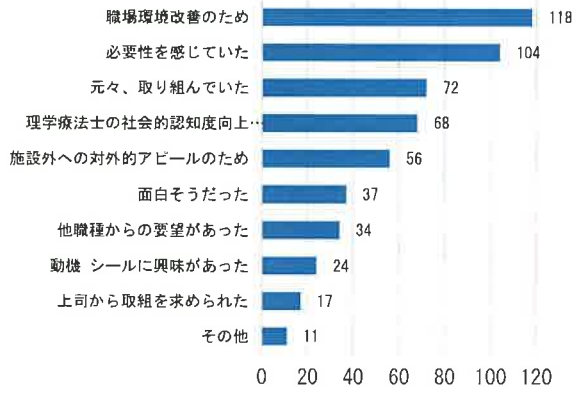
JPTA

JPTAのHP内
本事業掲載ページ

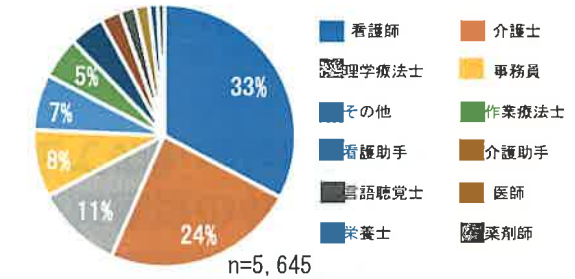
# 「2020　職場における腰痛予防宣言！」の事業報告(集計一覧)

## ○施設形態

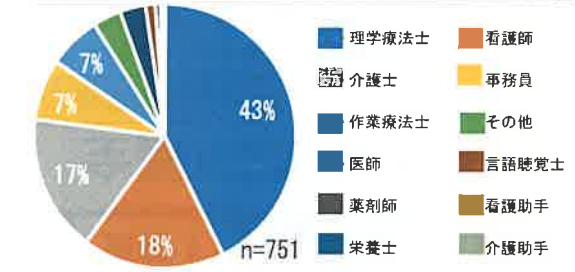
## ○本事業に参加したきっかけ、動機



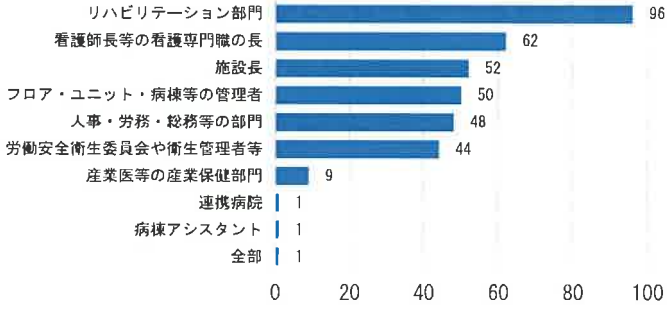

## ○参加職種と割合



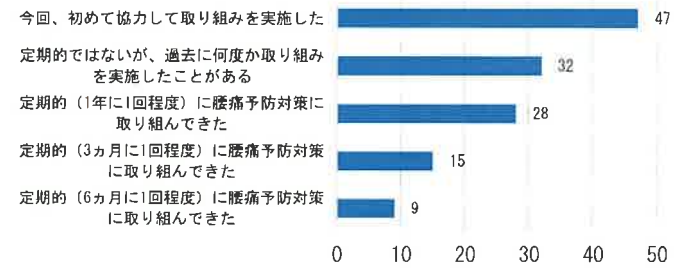

## ○腰痛予防対策の指導、運営、サポートの割合



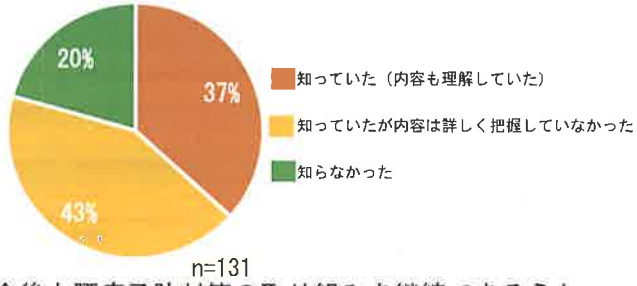

## ○実施の際に連携した部署・職種等



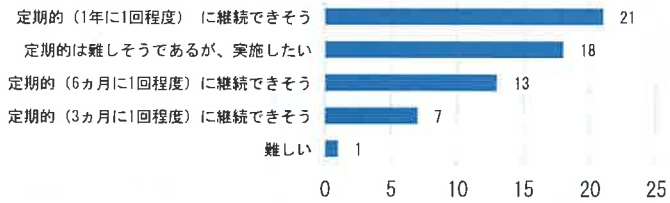

## ○実施以前に職場で他職種と協力した腰痛予防対策を実施したことがあるか



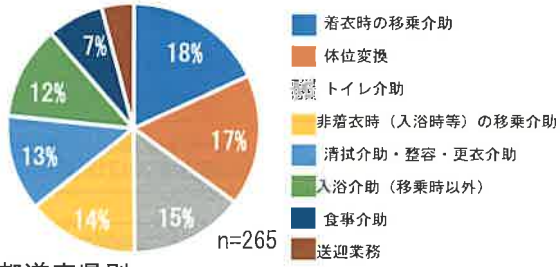

## ○実施以前から腰痛予防対策指針を知っていたか




## ○今後も腰痛予防対策の取り組みを継続できそうか




## ○職場のリスクの見積り(チェック)でチェックをした介護作業の中で、リスクが高い要因として多かった項目をお教えください




## ○都道府県別

別紙２

# 腰やばいかも

# あ、これ

ひとりで人や重いものを持ち上げるなど、
医療・介護現場の「動作の反動・無理な動作」が
腰痛の原因になります

※イラストはイメージです。実際の競技とは関係ありません。

## 2022 職場における
# 腰痛予防宣言！

わが国における業務上疾病は、腰痛が全体の約６割を占めており、また、医療・介護職種を含む「保健衛生業」における業務上疾病においても、腰痛は 81%に上り、予防的対策が急務となっています。本会では、理学療法士が自らの専門性を発揮し、全国的な医療・介護施設での腰痛予防・労働安全に貢献することを目的として、「2022 職場における腰痛予防宣言！」と題し、施設内で腰痛予防講習会の開催や職場のリスク見積と改善提案を実施するための支援を行っています。

「２０２２職場における腰痛予防宣言！」に参加してメダル認定を目指しましょう

銅
ポスターを施設内に掲示

各施設内で、腰痛予防講習会を実施

実施したら、協会へ報告！

銀
「２０２２職場における腰痛予防宣言 銀メダル施設」認定

施設の協力のもと、職場リスク見積と改善提案を行う

実施したら、協会へ報告！

金
「２０２２職場における腰痛予防宣言 金メダル施設」認定

銀メダル施設に認定されると銀のポスターが贈呈されます！「2022 職場における腰痛予防宣言！」についての詳細は、URLもしくはQRコードからご覧ください。

公益社団法人
日本理学療法士協会
Japanese Physical Therapy Association
JPTA
https://www.japanpt.or.jp/jptfunction/healthpromotion/#a3

この職場は「2022 職場における腰痛予防宣言！」に取り組み中です！